

事務事業チェックシート

事務事業No 99 事業名 美化推進協議会交付金事業

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	6	都市景観の形成
施策	1	都市緑化・都市美化の推進
基本方針	3	都市美化の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		総務費
	項		市民生活費
	目		まち美化推進費
	大事業		まち美化推進事業
事項		美化推進協議会交付金事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	昭和50年	～
事業実施の根拠法令	和歌山市美化推進協議会交付金交付要綱	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	自治振興課	野口 滋 435-1011
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	各地区の住民の活動により、美化推進を図るとともに、地域コミュニティを強化し、住み良い美しいまちづくりを推進する。	美しいまちづくりを推進するため、和歌山市美化推進協議会へ交付金を交付する。 【和歌山市美化推進協議会の行う事業】 ・会議開催（年間事業実施計画検討等） ・町内側溝清掃、一万人大清掃実施に係る物品の購入 ・啓発看板の掲示 ・各地区運営交付金の配布 ・啓発活動等の実施 ・その他美化事業に必要な物品等の購入				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		和歌山市美化推進協議会交付金（和歌山市美化推進協議会）	和歌山市美化推進協議会交付金（和歌山市美化推進協議会）	和歌山市美化推進協議会交付金（和歌山市美化推進協議会）	和歌山市美化推進協議会交付金（和歌山市美化推進協議会）	和歌山市美化推進協議会交付金（和歌山市美化推進協議会）

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	3,117	3,117	3,117	3,117	3,117		3,117		3,117	
	伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	3,436	3,012	3,012	3,351	3,408		3,408		3,408
		非常勤職員	0	0	0	0	0		0		0
		小計	3,436	3,012	3,012	3,351	3,408		3,408		3,408
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源（税等）	3,117	3,117	3,117	3,117	3,117		3,117		3,117	
所要人数	常勤職員	0.46	0.40	0.40	0.45	0.45		0.45		0.45	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳		美化推進協議会交付金 3,117千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	啓発看板設置枚数					年度目標値	84	84	84	84
						実績値	84	120		
	単位	枚	全体目標値	84	全体目標達成度	143.0%	年度別達成度	100.0%	143.0%	
							年度目標値			
成果指標	町内側溝清掃参加者数					年度目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
						実績値	10,800	10,800	10,800	
	単位	人	全体目標値	10,000	全体目標達成度	108.0%	年度別達成度	108.0%	108.0%	108.0%
							年度目標値			
						実績値				
						年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	美化推進運動の実践団体として、清掃活動やポイ捨て防止運動等の美化啓発活動を実施し、地域の美化推進が図れた。
「見直し」 「改善」案	現在、各地区において、自主的な活動が実施されており、この活動を維持継続していくため、当面は現行の仕組みを継続していく。